

第3(2・3下)学年〈B案〉 — 年間学習指導計画作成資料(平成29年度) —



※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じてA案の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載 他)	扱い時数の 目安(計35)
前期	詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、詩に込められた思いと旋律や強弱とのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●言葉の抑揚や音階の特徴を生かして、表現を工夫しながら旋律をつくる。	歌唱—ア		心の歌 花の街 (共通教材) My Voice! BINGO GAME RHYTHM GAME My Melody	詩や曲の背景を理解し、そこにこめられた思いを生かして歌おう。 豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう！ 音符、記号などの名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。 歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう。	4
			創作—ア				
	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	歌唱—ウ		風の中の青春 フィンランディア	パートの役割や旋律の音の動きを理解して合唱しよう。 アカペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。	3
			歌唱—ア, ウ				
	曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、表現を工夫しよう	●曲想を味わい、その音楽にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して歌う。	歌唱—ア, イ		Yesterday	英語の語感と曲の雰囲気を生かして歌おう。	3
歌唱—イ				能「羽衣」から	声や音楽の特徴を感じ取って謡おう。		
ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●様々なポピュラー音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ●曲想の変化を味わい、音素材の特徴や構成を生かしてリズム伴奏を考えたり、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解したりして、曲にふさわしい表現を工夫して合奏する。	鑑賞—イ, ウ		ポピュラー音楽	ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。	4	
		器楽—ア, ウ		◆ テキーラ (p.54) ◆ エデンの東 (p.58) / 美女と野獣 (p.64) 他	曲の構成を生かしてリズム伴奏を工夫しよう。 パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう。		
音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	●音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—イ		ブルタバ (モルダウ)	曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。	4	
		鑑賞—ア, イ		③「レクイエム」から「ラクリモサ(涙の日)」 ③エチュード ハ短調 (「革命」) ③「アララフェス協奏曲」から第2楽章 ③ノヴェンバー ステップス	曲の背景を知って、名曲を味わおう。		
後期	曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう	●全体のまとまりを考えて表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かしながら、それらの組み合わせ方や反復、変化、対照などの構成を工夫して、リズムアンサンブルをつくる。 ●パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解して、リズムの変化や重なり方に着目しながら、表現を工夫してリズムアンサンブルをする。	創作—イ		Let's Create!	構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。	4
			器楽—ウ		◆ 打楽器のための小品 (p.78)	リズムの変化や重なり方に注目しながら、リズムアンサンブルを楽しもう。	
	日本の伝統芸能の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●雅楽や能の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—ア,イ,ウ		③ 平調「越天楽」—管絃—	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。—雅楽—	3
			鑑賞—ア,イ,ウ		③「羽衣」から	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。—能—	
	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	●世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	鑑賞—イ, ウ		③ 世界の諸民族の音楽	世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。	2
日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。 ●明治から現代に至るまでの日本の音楽の変遷と、西洋音楽からの影響、日本から世界への音楽の発信について知る。	歌唱—ア		心の歌 花 (共通教材) 特集 国境を越えて影響し合う音楽	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	2	
		歌唱—ア, ウ					
仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア		きみとともに	歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。	6	
		歌唱—ア, ウ		歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。		
		歌唱—ア, ウ		心通う合唱 指揮をしてみよう!	仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。 指揮をするときのポイントをつかもう。		

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

国歌 君が代

…音色 …リズム …速度 …旋律 …テクスチャ …強弱 …形式・構成

…鑑賞教材 …器楽教材(中学生の器楽) ※「特集 ルールを守って音楽を楽しもう!」については、適宜指導計画に含める。